

新潟県総合計画評価・策定検討委員会 第1回全体会議 議事概要

1 開催概要

- (1) 日 時：令和6年4月23日（火）10：00～12：00
- (2) 会 場：新潟県自治会館3階301会議室
- (3) 出席者：委員21名中、18名出席（うちWEB出席4名）

2 議事概要

- (1) 知事、委員長、副委員長挨拶

- (2) 事務局説明

資料1「新潟県総合計画の改定等について」、資料2「新潟県総合計画の最終評価について」、資料3「新潟県を取り巻く社会経済状況等について」の説明を行った。

- (3) 主な委員意見

事務局説明後の意見交換における主な委員意見は以下のとおり。

ア 人口減少問題等について

- ただ人口が減ることを示すだけでなく、こうあるべきというビジョンを見える化し、県民と共通理解を得ながら取り組んで行くことが重要ではないか。
- 人口減少によって、経済・財政にどのような影響が生じるか掘り下げて分析を行うべき。1人当たりの財政支出は増える一方で、税収は減っていく。また地域ごとにどのような差があり、その要因は何か分析し、施策を検討していくべき。
- 県外転出の際における移動理由の把握は、人口減少対策の鍵になると考えるので、可能な範囲で継続的に把握する工夫をしていただきたい。
- 新潟県では県外への転出の際に移動理由を把握しているとのことであるが、転出に至る前に普段から県民の意識を情報として集めることが重要ではないか。
- 首都圏との賃金格差といった数字に表れるものだけでなく、新潟県の住みやすさ、幸福度といったものを測れる指標を検討してはどうか。

- 就職に関する若者の意識は変化しており、職種の魅力だけでなく、働きやすさ、人材育成、福利厚生といった職場の魅力に重点をおく学生が増えている。県内でも働き方改革を進めていけると職場の魅力が向上するのではないか。
- 大学や就職で一旦新潟を離れた若者が、県外で得た知識やネットワークを活用して、県内で起業や就職など活躍できる環境を整えることも重要ではないか。
- 災害に備えるためには地域力が必要であり、いかに若い世代を定着させるかが重要であるが、男女別の転出入数など数字として見やすい形にさせていただくと、議論が進むと思う。
- 国が進める「こどもまんなか社会」という観点や、昨年度県が制定したこども条例の考え方を全県に浸透させるため、総合計画に反映していただきたい。
- こどもを育てている教員をどう支えていくかということも大きな課題であり、地域との関わり等を含めて、教育の環境を守っていくことが必要と考える。

イ 交流人口・地方創生について

- 人口減少や交流人口の拡大において観光の果たす役割は重要と認識しており、「第二の故郷」として、また帰ってきたいと思ってもらえるような交流の場所として新潟の魅力を発信していくべき。
- 最近の地方創生の取組の中では「移住」よりも、「二拠点居住」や「第二の故郷」といった観点からの取組が進められており、地域の文化などをきっかけに様々な人材から第二の故郷として新潟と関係を持ってもらうという観点があるとよいのではないか。
- 二拠点居住を進めるためには、職場での IT の整備が必要であり、まずは県庁から率先して取り組んでほしい。ITを活用した働き方により、介護離職も減り、子育て世代の負担も減ると思う。

ウ 外国人について

- 今後、社会経済維持の観点から、外国人から日本に来ていただくことは欠かせないと思うが、外国人が増加することによるメリット、デメリットを整理することで、外国人が増加する中での新潟県のあり方が分かるのではないか。

- 外国人が増加する中で、労働力としてのみ捉えるのではなく、生活者として捉える観点も重要であり、子育て、保育現場、学校などの環境も含めて考えて行く必要がある。

エ 産業振興について

- 海外の半導体企業の進出により、九州全体が好景気に沸いている。新潟も洋上風力や基地港湾など、クリーンエネルギーの取組が進められているので、グリーン産業の育成・誘致に力をいれてはどうか。またそのための人材育成にもしっかりと取り組んで行くべき。
- 有効求人倍率が全国より高いとのことであるが、新潟の産業構造をみると、製造業が多いなど資源高の影響を受けやすい構造となっているが、今後8年間の新潟県の新産業の創出について考えて行く必要がある。
- 農林漁業、食品製造業が強いことは新潟の最大の強みと考えるが、新潟は農業と食品企業のつながりが弱いように感じており、フードチェーンがつながるような仕組みづくりを進めて行くべき。

オ その他

- この後はワーキンググループに分かれて議論していくこととなるが、各ワーキンググループにおける意見・議論については、他の委員にも情報共有を行い、委員会全体として議論が深められるような運営としていただきたい。

以 上